

問 B-2. 次の a ～ d の文は、作業機関の対応について述べたものである。下線部の対応について、正しいものには○を、間違っているものには×及び正しい内容を、それぞれ解答欄に記せ。

- a. 基準点測量において、観測中に観測者が急に病気となった。観測を計画どおり行うため、作業計画書に記載のない自社の測量士補を観測者として作業を続行した。翌日、測量計画機関には観測者を交代した旨速やかに報告した。
- b. 水準測量において、レベルを長距離運搬したので、作業実施前に機器の点検調整を行った。問題がないことを確認したのでその機器を用いて作業を行った。
- c. 電子基準点のみを既知点とした基準点測量で、作業効率を考慮し、観測終了後、観測機器を設置したまま続けて点検測量を実施した。
- d. 航空レーザ測量において、全ての調整点で点群データを点検した結果、較差の平均値の絶対値が 25 cm 以上であった。較差の傾向が作業地域全体で同じであったため、地域全体について補正を行った。